

## Specifications

パッド & ディスプレイ	16 タッチセンサー 有機ELディスプレイ (128×64ドット)
ポリフォニー (同時発音数)	32音
ドラムキット & サウンド	48キット & 185シングル・サウンド
リズムパターン	プリセット × 100セット ユーザー・プリセット × 100セット (合計64,000ノート)
パターンの長さ	4小節
ソング	ユーザーソング × 50曲 (1ソングにつき800小節 / 200パターン)
テンポ	5~320
拍子	9種類 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 7/4, 9/4, 11/4, 13/4, 15/4
音符の分解能 (クオント化)	5段階 (1/8, 1/16, 1/32, 1/64)
エフェクト	リバーブ (6タイプ × 10段階)
他のコントロール	[FILE]ボタン、[Playhead]ボタン
接続	ヘッドホン出力 (ステレオミニ端子) × 1 ライン出力 (ステレオフォン) × 1 USB-C (USBオーディオ、MIDI、電源) × 1 ペダル端子 × 1
スピーカー&アンプ	2×36 mm, 1W
電源	USB-C 5V または 単三電池×4本
寸法と重量	寸法: 182.0 × 111.5 × 57.5mm 重量: 467g

13

Drum Kit List	Prg
1 Basic Kit 1	0
2 Basic Kit 2	1
3 Basic Kit 3	2
4 Vintage Kit	3
5 Warm Kit 1	4
6 Warm Kit 2	5
7 Studio Kit 1	6
8 Studio Kit 2	7
9 Studio Kit 3	8
10 Room Kit 1	9
11 Room Kit 2	10
12 Organic Kit 1	11
13 Organic Kit 2	12
14 Pop Kit	13
15 80's Kit	14
16 Tight Kit 1	15
17 Tight Kit 2	16
18 Solid Kit 1	17
19 Solid Kit 2	18
20 Solid Kit 3	19
21 Brush Kit	20
22 Fat Kit 1	21
23 Fat Kit 2	22
24 Heavy Kit	23
25 Indie Kit 1	24
26 Indie Kit 2	25
27 Metal Kit	26
28 Ballad Kit 1	27
29 Ballad Kit 2	28
30 Ballad Kit 3	29
31 Latin Kit 1	30
32 Latin Kit 2	31
33 Latin Kit 3	32
34 Techno Kit 1	33
35 Techno Kit 2	34
36 House Kit 1	35
37 House Kit 2	36
38 House Kit 3	37
39 House Kit 4	38
40 Electro Kit 1	39
41 Electro Kit 2	40
42 Electro Kit 3	41
43 Hybrid Kit 1	42
44 Hybrid Kit 2	43
45 Oriental Kit	44
46 Creative Kit 1	45
47 Creative Kit 2	46
48 Creative Kit 3	47

14

Preset Rhythm Pattern List		
8 Beat A	J =	
P025	16 Beat A5	126
P026	16 Beat A6	126
P001	8 Beat A1	126
P002	8 Beat A2	126
P003	8 Beat A3	126
P004	8 Beat A4	126
P005	8 Beat A5	126
P006	8 Beat A6	126
P007	8 Beat A7	126
P008	8 Beat A8	126
P009	8 Beat A9	141
P010	8 Beat A10	138
8 Beat B	J =	
P011	8 Beat B1	141
P012	8 Beat B2	126
P013	8 Beat B3	126
P014	8 Beat B4	126
P015	8 Beat B5	141
P016	8 Beat B6	110
P017	8 Beat B7	136
P018	8 Beat B8	110
P019	8 Beat B9	148
P020	8 Beat B10	88
16 Beat A	J =	
P021	16 Beat A1	126
P022	16 Beat A2	126
P023	16 Beat A3	126
P024	16 Beat A4	126

Swing		
P074	Latin 4	106
P075	Latin 5	97
P076	Latin 6	120
P077	Latin 7	120
P078	Latin 8	90
P079	Latin 9	125
P080	Latin 10	116
P081	Dance A1	116
P082	Dance A2	120
P083	Dance A3	122
P084	Dance A4	128
P085	Dance A5	90
P086	Dance A6	82
P087	Dance A7	86
P088	Dance A8	118
P089	Dance A9	120
P090	Dance A10	118
P091	Dance B1	81
P092	Dance B2	168
P093	Dance B3	120
P094	Dance B4	140
P095	Dance B5	138
P096	Dance B6	70
P097	Dance B7	85
P098	Dance B8	75
P099	Dance B9	80
P100	Dance B10	95

Jazz		
P066	Jazz 1	100
P067	Jazz 2	100
P068	Jazz 3	100
P069	Jazz 4	117
P070	Jazz 5	119
P071	Latin 1	120
P072	Latin 2	105
P073	Latin 3	125

PLAYTECH

RHYTHM MACHINE

PRM100S

取扱説明書

## 注意事項

### クリーニング

クリーニングは、乾いた柔らかい布で行ってください。シンナー、溶剤、洗浄液、化学薬品などは使用しないでください。

### 取り扱いについて

スイッチや操作部に無理な力を加えないでください。楽器内に紙や金属などを入れないでください。直射日光が当たる場所 - 極端に高温または多湿な場所 - 過度にはこりや汚れが多い場所 - 強い振動や衝撃が加わる場所 - 磁場の強い場所

### 電源について

本機とUSB電源アダプターを接続し、コンセント等に接続してください。使用しないときや雷雨のときは、USB電源アダプターをコンセントから抜いてください。

### 他の電気機器との干渉

本機の近くにラジオやテレビがあると、電波干渉を起こすことがあります。距離を離して使用してください。

本書をお読みになった後は、必ず分かりやすい場所に保管してください。

取扱説明書の保管

本書をお読みになった後は、必ず分かりやすい場所に保管してください。

### 機器への異物混入の防止

液体の入った容器を本機の近くに置かないでください。液体が本機内に入ると、故障、火災、感電の原因となります。

金属類が本機の中に入らないように注意してください。

取り扱いについて

スイッチや操作部に無理な力を加えないでください。楽器内に紙や金属などを入れないでください。直射日光が当たる場所 - 極端に高温または多湿な場所 - 過度にはこりや汚れが多い場所 - 強い振動や衝撃が加わる場所 - 磁場の強い場所

### 電源について

本機とUSB電源アダプターを接続し、コンセント等に接続してください。使用しないときや雷雨のときは、USB電源アダプターをコンセントから抜いてください。

### 他の電気機器との干渉

本機の近くにラジオやテレビがあると、電波干渉を起こすことがあります。距離を離して使用してください。

### 機器への異物混入の防止

液体の入った容器を本機の近くに置かないでください。液体が本機内に入ると、故障、火災、感電の原因となります。

金属類が本機の中に入らないように注意してください。

取り扱いについて

スイッチや操作部に無理な力を加えないでください。楽器内に紙や金属などを入れないでください。直射日光が当たる場所 - 極端に高温または多湿な場所 - 過度にはこりや汚れが多い場所 - 強い振動や衝撃が加わる場所 - 磁場の強い場所

### 電源について

本機とUSB電源アダプターを接続し、コンセント等に接続してください。使用しないときや雷雨のときは、USB電源アダプターをコンセントから抜いてください。

### 他の電気機器との干渉

本機の近くにラジオやテレビがあると、電波干渉を起こすことがあります。距離を離して使用してください。

### 機器への異物混入の防止

液体の入った容器を本機の近くに置かないでください。液体が本機内に入ると、故障、火災、感電の原因となります。

金属類が本機の中に入らないように注意してください。

取り扱いについて

スイッチや操作部に無理な力を加えないでください。楽器内に紙や金属などを入れないでください。直射日光が当たる場所 - 極端に高温または多湿な場所 - 過度にはこりや汚れが多い場所 - 強い振動や衝撃が加わる場所 - 磁場の強い場所

### 電源について

本機とUSB電源アダプターを接続し、コンセント等に接続してください。使用しないときや雷雨のときは、USB電源アダプターをコンセントから抜いてください。

### 他の電気機器との干渉

本機の近くにラジオやテレビがあると、電波干渉を起こすことがあります。距離を離して使用してください。

### 機器への異物混入の防止

液体の入った容器を本機の近くに置かないでください。液体が本機内に入ると、故障、火災、感電の原因となります。

金属類が本機の中に入らないように注意してください。

取り扱いについて

スイッチや操作部に無理な力を加えないでください。楽器内に紙や金属などを入れないでください。直射日光が当たる場所 - 極端に高温または多湿な場所 - 過度にはこりや汚れが多い場所 - 強い振動や衝撃が加わる場所 - 磁場の強い場所

## パターンモード(1/2)

パターンは4小節のリズム・フレーズで構成されており、単独でループ再生することも、つなげて曲を形成することもできます。

プリセットまたは録音されたユーザー・リズムパターンの再生

1. [MODE 1]ボタンでパターンモードを選択します。

2. [RHYTHM]ノブを使用して、プリセット・リズムパターン(P001~100)またはユーザー・リズムパターン(U001~100)の中から希望のパターンを選択します。ユーザー・リズムパターンスロットが空の場合、ディスプレイのスロット番号に※印が付きます。

3. [Play / Stop ▶|■]ボタンを押してリズムパターンを再生/停止します。停止するまでリズムパターンはループ再生されます。

4. テンポとキットは、再生前でも再生中でもノブで直ちに変更できます(各プリセットパターンは、最初に選択されたときには、デフォルトのテンポとキットが設定されています)。

5. 再生中に[RHYTHM]ノブでパターンを変更した場合、現在のパターンはその長さ(4小節)の終わりまで再生され、次に選択されたパターンは次のループから再生を始めます。この場合、テンポは前回のパターンが維持され、キットは次のパターンの初期設定に更新されます。

6. 再生前または再生中に[Playhead ▶◀]ボタンを押すと、直ちにパターンの先頭に戻ります。

ファイルを実行する(プリセットのみ)

1. プリセット・リズムパターン再生中にFILLを押すと、[FILL]ボタンのLEDが点灯し、パターン(4小節)の最後にファイルを実行します。LEDは、ループの最終小節に入るまで点滅し、ループの最終小節(ファイルの実行中)では点灯に変わります。
2. 3小節目までに[FILL]を押した場合、現在の4小節ループの最後にファイルが入ります。4小節目に入つてから[FILL]を押した場合は次のループの最後にファイルが入ります。

ユーザー・リズムパターンの録音

1. [MODE 1]ボタンでパターンモードを選択します。
2. ユーザー・リズムパターンスロットを選択: [RHYTHM]ノブでユーザー・リズムパターン(U001 ~ 100)を選択し、空いているスロットに新しいパターンを録音します。
3. テンポの変更: 変更したい録音済みのユーザー・リズムパターンスロットを選択して、録音を開始して、変更したいテンポを設定、録音を停止して確定すると、テンポが上書きされます。
4. 録音を開始: [Play / Stop ▶|■]ボタンを押すと録音を始めます。設定された拍子に応じて1小分のプリカウントがあり、録音中はガイド用メトロノームが鳴ります。
5. 録音の終了: [Play / Stop ▶|■]ボタンを押すと録音を終了します。録音ボタンが点滅します。録音ボタンが点滅するときに録音ボタンを押すと録音が一時停止し、録音ボタンは再び点滅(スタンバイ)に戻ります。再度録音ボタンを押すと、同じユーザー・リズムパターンへの録音を続行できます。録音を終了したい場合は、[Play / Stop]ボタンを押してください。
6. 録音を終了: [Play / Stop ▶|■]ボタンを押し、録音を終了します。現在のユーザー・リズムパターンは録音されたパターンが表示され、表示されている名前の※印が消えます。

## パターンモード(2/2)

パッド感度: パーカッションパッドの感度を設定します。

拍子: 1小節に含める拍または四分音符の数を変更します。

クオント化(音符の分解能): タイミンググリッドの最小単位を設定します。細かく設定するほど表現力のある入力が可能になりますが、その分わずかなタイミングのずれも反映されやすくなります。適切なグリッドを選び、8分音符/16分音符/32分音符/64分音符単位でクオント化して、演奏のニュアンスを的確に捉えてください。

一度録音されたパターンは、音の強弱やタイミングが記憶され、後で変更することはできません。

5.スタンバイ: [Rec ●]ボタンを押すと録音スタンバイになります。[Rec ●]ボタンのLEDが点滅します。スタンバイ状態を解除したい場合は、もう一度[Rec ●]ボタンを押します。

6.録音を開始: [Play / Stop ▶|■]ボタンを押すと録音を始めます。設定された拍子に応じて1小分のプリカウントがあり、録音中はガイド用メトロノームが鳴ります。

7.録音モードでは、録音ボタンが点滅している間はスタンバイ状態、点灯している間は録音中です。録音モードに入った直後は、録音ボタンが点滅します。[Play / Stop ▶|■]ボタンを押すと録音が開始され、録音ボタンが点灯し、[Play / Stop]ボタンはメトロノーム速度に同期して点滅します。録音中に録音ボタンを押すと録音が一時停止し、録音ボタンは再び点滅(スタンバイ)に戻ります。再度録音ボタンを押すと、同じユーザー・リズムパターンへの録音を続行できます。録音を終了したい場合は、[Play / Stop]ボタンを押してください。

8.録音を終了: [Play / Stop ▶|■]ボタンを押し、録音を終了します。現在のユーザー・リズムパターンは録音されたパターンが表示され、表示されている名前の※印が消えます。

※4小節をループして再生しながら、録音できるので1パートずつパッド入力ができます(バスドラムスネアシンバルなど)。カタピミングなどをミスしても、後述の方法でそのノートの音を一旦削除して、入力し直すと効率的です。

## パターンモード(2/2)

音楽済みのユーザー・パターンの変更

1.ノートの追加: 録音済みのユーザー・パターンスロットを選択して、録音手順を実行します。前のノートが再生され、任意のパッドを叩くと、音を追加で録音できます。

2.ノートの削除: 録音済みのユーザー・パターンスロットを選択して、録音手順を実行します。録音中にERASEを押し続け(およそ2秒間)、パターン内の削除したい任意のパッドも長押しします。長押しされているタイミングのパッドのサウンドが削除されます。

3.テンポの変更: 変更したい録音済みのユーザー・リズムパターンスロットを選択して、録音を開始して、変更したいテンポを設定、録音を停止して確定すると、テンポが上書きされます。

4.タップテンポは、メトロノーム速度の設定に2通りの方法で利用できます。

5.タップテンポ機能が効果的に動作する場合、[FUNCTION]ボタンを押して同期モードの設定に入ります。

6.録音を開始: [Play / Stop ▶|■]ボタンを押すと録音を始めます。録音ボタンが点滅します。録音ボタンが点滅するときに録音ボタンを押すと録音が開始され、録音ボタンが点灯し、[Play / Stop]ボタンはメトロノーム速度に同期して点滅します。録音中に録音ボタンを押すと録音が一時停止し、録音ボタンは再び点滅(スタンバイ)に戻ります。再度録音ボタンを押すと、同じユーザー・リズムパターンへの録音を続行できます。録音を終了したい場合は、[Play / Stop]ボタンを押してください。

7.録音を終了: [Play / Stop ▶|■]ボタンを押し、録音を終了します。現在のユーザー・リズムパターンは録音されたパターンが表示され、表示されている名前の※印が消えます。

8.録音を終了: [Play / Stop ▶|■]ボタンを押し、録音を終了します。現在のユーザー・リズムパターンは録音されたパターンが表示され、表示されている名前の※印が消えます。

## ソングモード(3/3)

ユーザー・リズムパターンの録音

1. PatternモードまたはSongモードで、FILLボタンを長押ししてください。Tap Tempo機能が有効になり、PAD16が連続点灯、Play/Stopボタンはメトロノーム速度に合わせて点滅、メトロノーム音が鳴り始めます。

2. 本機能が有効な状態で任意のパターンを再生すると、メトロノーム音はオフになりますが、タップテンボは有効になります。パターン再生を一時停止すると、メトロノーム音は再開します。

3. 録音準備モードではメトロノーム音はオフになりますが、タップテンボは有効です。録音を開始すると、メトロノーム音は再開します。

4. 同期モード

FUNCTIONボタンを繰り返し押して'Sync Mode'を選択し、同期モードの設定に入ります。

5. タップテンボ機能が効果的に動作する場合、[FUNCTION]ボタンを押して同期モードの設定に入ります。

6. ベル

1. ベルを本体背面の「Pedal」端子に接続します。

2. FUNCTIONボタンを繰り返し押して、ベル設定を選択します。

3. VALUEノブでペダルをタップボタンに設定します。[開始 / 停止、トリガーフィル、タップテンボ、トリガーハード]を押してください。

4. 録音を終了: [Play / Stop ▶|■]ボタンを押し、録音を終了します。現在のユーザー・リズムパターンは録音されたパターンが表示され、表示されている名前の※印が消えます。

※4小節をループして再生しながら、録音できるので1パートずつパッド入力ができます(バスドラムスネアシンバルなど)。カタピミングなどをミスしても、後述の方法でそのノートの音を一旦削除して、入力し直すと効率的です。

## FUNCTION(機能設定)

パターン / ソングの再生をしていない状態で[FUNCTION]を押すと、ディスプレイに1つめの設定項目(Pad Sens)が表示されます。

[FUNCTION]ボタンを繰り返し押して移動し、[VALUE]ノブを使用して各項目の値を変更します。ファンクションモードを終了するには[ERASE ▶◀]を押すか、何も操作せずに5秒間待ちます。

項目	設定値	説明
Pad Sens パッド感度	Soft Medium Hard Fixed (初期値=Hard)	パーカッションパッドに入力された圧力に対する感度
Fixed Sens 固定感度	60 ~ 127 (初期値=100)	パッド感度「固定」を選択した時のペロシティ値
Perspective 音の奥行き	Player Audience (初期値=Player)	Audienceにするとの左右への音の広がり抑えられ、ライブ向きの設定になります
Rev Type リバーブ・タイプ	Hall 1, 2, 3 Room 1, 2 (初期値=Hall 1)	全体にかかるリバーブのタイプ
Rev Level リバーブ・レベル	0 ~ 10 (初期値=4)	全体にかかるリバーブのレベル
Time Sig 拍子	2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 11, 13, 15 (初期値=4)	拍子(1小節に入る4分音符の数)を設定します

## ソングモード(1/3)

ソングは、インロードコースなどのセクションを持ち、完全な曲として機能する一通りのパターンです。

ソング

1. [MODE 1]ボタン⑥でソングモードを選択します。

2. [RHYTHM]ノブ④を使用して希望のソング(S001~050)を選択します。ソングスロットに空いている場合、スロット番号に※印が表示されます。

3. ソングが登録されている場合、[Play / Stop ▶|■]ボタン⑨を押すと再生が始まります。ソングの再生が終了するとそのまま停止し、ループ再生は行われません。

4. テンポとキットは、再生前でも再生中でもノブで変更できます(各ソングには録音時のテンポが記憶されます)。

5. 再生中に[RHYTHM]ノブ④を使用して他のソングに移動することはできません。また、再生中にFILLボタンも使用できません。

6. 再生前または再生中に[Playhead ▶◀]ボタン⑦を押すと、ソングの先頭に戻ります。

ユーザー・ソングの作成

1. [MODE 1]ボタン⑥でソングモードを選択します。

2. ソングスロットの選択: [RHYTHM]ノブ④を使用して、希望のソングスロット(S001~050)に移動します。空いたスロット(※印が表示されているスロット)に新しいソングを作成するか、すでに作成したソングで作業を続行します。

3. テンポの設定: 新しいソングを作成する場合、[TEMPO]ノブ③を使用して希望のテンポ値を設定できます。

4. 作成を開始: [Rec ●]ボタン③を押すとソング作成を始めます。[Rec ●]ボタンのLEDが点灯します。

5. パターンをレイアウト: [RHYTHM]ノブ④を使用して、プリセットパターン(P001 ~ 100)またはユーザー・パターン(U001 ~ 100)から、セクションを選択し、[ENTER ●]ボタン③を押して登録します。プリセットグループから選択した場合は、ファイルも自動的にパターンに組み込まれます。パターンを選択中に[Play/Stop ▶|■]ボタン⑨を押すとパターンを確認できます。

6. 登録したいパターンを決め、[ENTER ●]を押して確定すると、次のセクションを選択します(例えば、セクション「1 / 200」で使用するパターンを確定すると、次のセクションとして「2 / 200」が表示されます)。次のセクションに移動すると、まず"No Data"と表示されますが、ここから[RHYTHM]ノブ④を回していくとプリセットパターン(P001 ~ 100)、ユーザー・パターン(U001 ~ 100)がロードされます。ソングの最終であれば手順7(録音を終了)へ進みます。

7. 作成を終了: ソング全体が意図したとおりに完成するまで、ステップ⑤を繰り返します。終了する場合は[ENTER ●]ボタン③を長押しして確定します。現在のソングスロットにはパターンチーンが保存され、表示されている名前から※印が消えます。

8. パターンのプリセットパターン / ユーザー・パターンを曲の進行順に並べたものがソングとなります。

9. パターンの設定: 新しいソングを作成する場合、[TEMPO]ノブ③を使用して希望のテンポ値を設定できます。

## ソングモード(2/3)

既存ソングの修正

1. ソング内のパターンの変更: 既存のユーザー・ソングに選択し、[ENTER ●]ボタンを押してソング作成に入ると、パターンの最初のスロット「1 / 200」が表示されます。[ENTER ●]ボタン③を繰り返し押して、並べられたパターンを1つずつ確認し、パターンを変更したいセクションを選択します。変更したいスロットで[RHYTHM]ノブ④を使用してパターンを変更します。完了したら[ENTER ●]ボタン③を長押しして作成を確定し、終了します。

2. テンポの変更: 既存のユーザー・ソングにダイヤルし、作成や修正中に[TEMPO]ノブ③を使用してテンポを変更します。作成・修正中に変更した場合は、作成が確定させた時点のテンポが表示されます。

3. 登録したいパターンを決め、[ENTER ●]を押して確定すると、次のセクションとして「2 / 200」が表示されます。次のセクションに移動すると、まず"No Data"と表示されますが、ここから[RHYTHM]ノブ④を回していくとプリセットパターン(P001 ~ 100)、ユーザー・パターン(U001 ~ 100)がロードされます。ソングの最終であれば手順7(録音を終了)へ進みます。

4. 作成を終了: ソング全体が意図したとおりに完成するまで、ステップ⑤を繰り返します。終了する場合は[ENTER ●]ボタン③を長押しして確定します。現在のソングスロットにはパターンチーンが保存され、表示されている名前から※印が消えます。

5. パターンの設定: 新しいソングを作成する場合、[TEMPO]ノブ③を使用して希望のテンポ値を設定できます。

6. パターンの録音

7. ソングのコピーベースト、消去

ファンクションモードを参照してください。



## ソングモード(3/3)

ユーザー・リズムパターンの録音

1. PatternモードまたはSongモードで、FILLボタンを長押ししてください。Tap Tempo機能が有効になり、PAD16が連続点灯、Play/Stopボタンはメトロノーム速度に合わせて点滅、メトロノーム音が鳴り始めます。

2. 本機能が有効な状態で任意のパターンを再生すると、メトロノーム音はオフになりますが、タップテンボは有効になります。パターン再生を一時停止すると、メトロノーム音は再開します。